

# Kansai Economic Insight Monthly

2014/10/22

Vol.18 September/October

・APIR “Kansai Economic Insight Monthly” は、関西経済とそれに関連する中国経済の動向に関する分析レポートです。

・本レポートの内容は、公益社団法人関西経済連合会『関西経済レポート』と連携しています。

・レポート公開時期は毎月第二週金曜日を予定しています。

・執筆者は、稲田義久（甲南大学教授、APIR 数量経済分析センター長）、岡野光洋・林万平・木下祐輔（各 APIR 研究員）です。

・本編内の中国景気モニターは、APIR 中国経済分析のプロジェクトによるものであり、関西経済分析と連動して定期的に発信します。

・本レポートにおける「関西」は、原則として滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県です。統計出所を発表している省庁などが「近畿」としている場合も「関西」に統一しています。

## 目次

要旨	1
景気の現況	2
中国景気モニター	8
主要月次統計	9
Release Calendar	10

## 要旨

- ✓ 8月の鉱工業生産指は前月比-3.9%と2カ月ぶりの前月比下落。今後の生産動向は注意が必要である。
- ✓ 9月は輸出の伸びはプラス。輸入の伸びは2カ月ぶりのプラス。結果、貿易収支は2カ月ぶりの赤字。
- ✓ 9月の景気ウォッチャー現状判断DIは2カ月ぶりの小幅上昇だが先行き判断は2カ月ぶりの悪化。消費者態度指数は2カ月連続の悪化。センチメントの改善は見込みづらい。
- ✓ 7月の現金給与総額の伸びは関西2府4県、関西コアともに5カ月連続のプラス。8月の全国現金給与総額(確報値)は6カ月連続のプラスも伸びは減速。
- ✓ 8月の大型小売店は、前年比2カ月連続のプラス。消費増税から5カ月が経過し、駆け込み需要の反動減の影響は和らぎつつある。
- ✓ 8月の新設住宅着工戸数は前年比+10.6%と4カ月ぶりのプラス。今月は貸家や分譲マンションの大幅増が影響した。
- ✓ 8月の有効求人倍率は前月比横ばい。新規求人倍率は2カ月連続で下落。企業の新規求人意欲が幾分弱まっている。一方、失業率は4.0%と大幅改善。
- ✓ 9月の公共工事請負金額は前年比-11.3%と2カ月連続のマイナス。請負金額は減速が続いている。
- ✓ 8月の建設工事は前年比+4.8%と28カ月連続のプラスも、伸びは5カ月連続で1桁となった。建設工事は減速が続いている。
- ✓ 9月中国のPMI指数は前月から横ばい。輸出額は前年比+15.1%と6カ月連続のプラス。伸びは前月から再び加速した。輸入額は同+7.2%となり、3カ月ぶりのプラス。

【関西経済のトレンド】

	2013年			2014年								
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
生産	↖	→	→	→	→	↘	↖	↖	↘	↖	↘	
貿易	↖	↖	↘	↘	↖	↘	↖	→	↘	↖	→	→
センチメント	↘	↖	→	↘	↘	↘	↘	↖	↖	↖	↘	↘
消費	↖	↖	↖	↖	↖	↖	↘	→	→	→	↖	
住宅	↖	↖	↖	↖	↘	→	↖	↘	→	↘	↖	
雇用	→	↖	↖	↖	→	→	→	↖	→	→	→	
公共工事	→	↖	↖	↘	↘	↘	↖	↖	→	→	→	↘
中国	→	→	→	→	→	→	→	→	↖	↖	↘	→

【鉱工業生産動向】

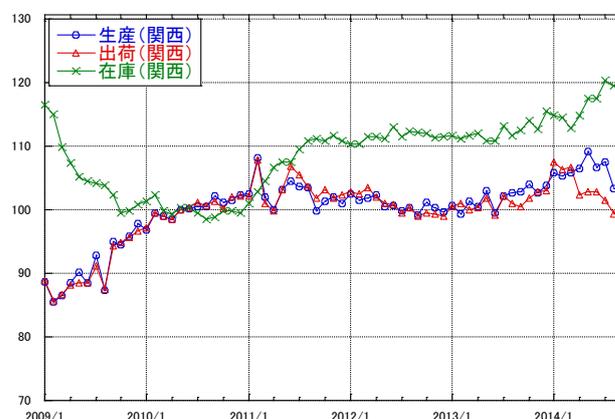
(1) 関西の生産動向

8月の鉱工業指数（速報値：季節調整済）を見ると、生産は103.4で前月比-3.9%と2カ月ぶりの下落。出荷は99.4で同-2.2%と2カ月連続の下落。結果、在庫は119.5で同-0.7%、と5カ月ぶりの下落となった。

業種別に生産指数をみると、はん用・生産用・業務用機械、(同-16.4%)、金属製品(同-10.5%)、輸送機械(除 航空機・鋼船・鉄道車両)(同-4.5%)等が下落した。一方、化学(除 医薬品)(同+8.7%)、電子部品・デバイス(同+2.5%)、鉄鋼(同+2.3%)等が上昇した。

足下、ウェイトの大きなはん用・生産業・業務用機械等の大幅な減産に伴い、生産は前月から一転減少となった。これにより、生産の7-8月平均は4-6月期平均に比して-1.8%と8期ぶりの下落となった。出荷、在庫も減少しており、今後の生産動向に注意が必要である。

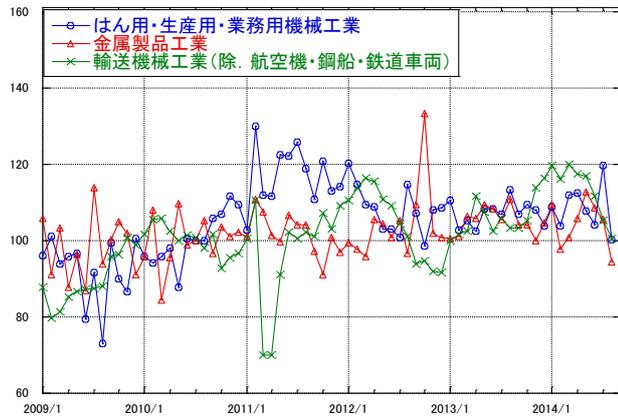
鉱工業指数の推移(関西：2014年8月まで、平成22年=100)



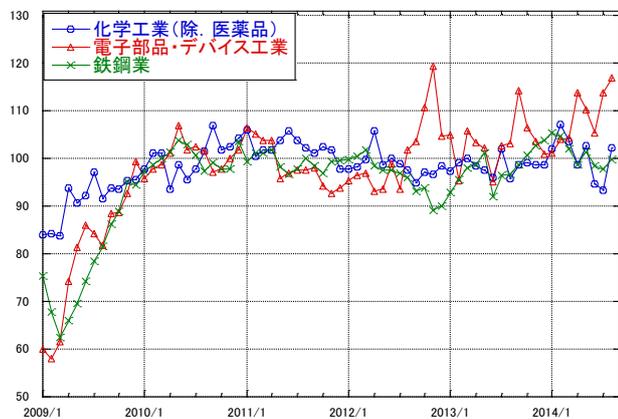
(注) 福井県を含む。

(出所) 「近畿経済の動向」、近畿経済産業局

業種別生産指数の推移(関西：2014年8月まで、平成22年=100)



業種別生産指数の推移(続き)



(注) 福井県を含む。

(出所) 「近畿経済の動向」、近畿経済産業局

### (2) 全国の生産動向

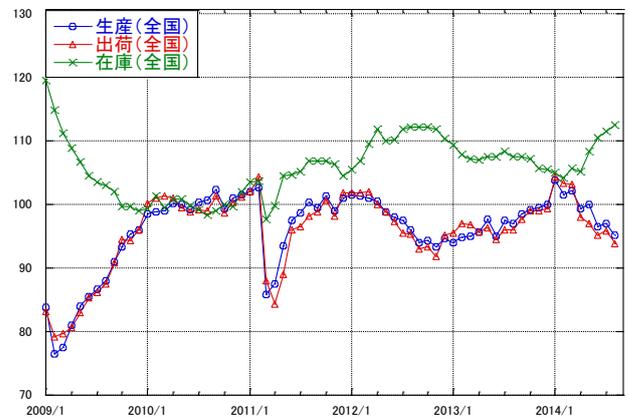
全国における8月の鉱工業生産指数(確報値、季節調整済)は95.2となり前月比-1.9%、出荷は93.9で同-2.1%といずれも2カ月ぶりの下落。在庫は112.6で同+0.9%と4カ月連続の上昇となった。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(同-7.2%)、輸送機械(同-3.4%)、電気機械(同-3.7%)等を中心に減産となった。一方、化学(同+2.6%)、電子部品・デバイス(同+3.7%)、食料品・たばこ(同+0.4%)等を中心に増産となった。

前月の小幅増産から一転、足下、生産は減少となった。結果、7-8月平均は4-6月期平均に比して-2.6%と二期連続の減産となった。速報における製造工業生産予測調査では、9月

(同+6.0%)は増産の見込みだが、10月(同-0.2%)は小幅減産の見込みであり、今後の生産動向は見極めにくい。

鉱工業指数の推移(全国：2014年8月まで、平成22年=100)



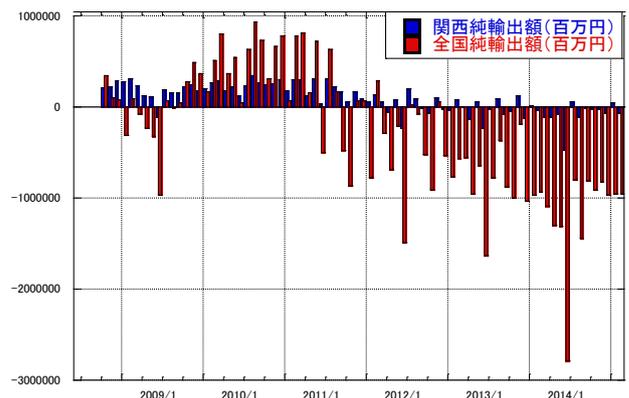
(出所) 「鉱工業指数」、経済産業省

### 【貿易動向】

#### (1) 純輸出

貿易概況(速報値)によれば、9月関西の貿易収支は-648億円と2カ月ぶりの赤字となり、赤字幅は前年同月比+88.9%と305億円増加した。全国9月の貿易収支(速報値)は-9,583億円と27カ月連続の赤字となった(同+1.6%)。

純輸出(百万円)推移(2014年9月まで)



(出所) 「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」、大阪税関調査統計課

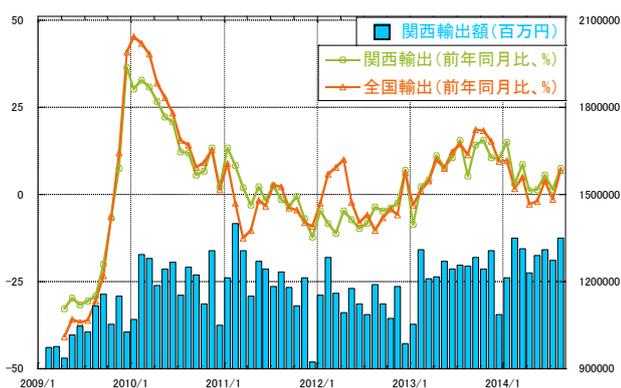
#### (2) 輸出

関西9月の輸出額(速報値)は1兆3,491億円、前年同月比+7.5%と19カ月連続の増加。前月(同+1.3%)から幾分回復

したものの、7カ月連続で1桁の伸びにとどまっている。財別に見れば、輸出増加に主に貢献したのは、半導体等電子部品、科学光学機器(単月過去最高額)であった。

全国9月の輸出額(速報値)は6兆3,832億円、前年同月比+6.9%と2カ月ぶりのプラス。財別に見れば、自動車、鉄鋼、船舶等の輸出が増加した。

輸出(右、百万円)・前年同月比(左、%)推移(2014年9月まで)



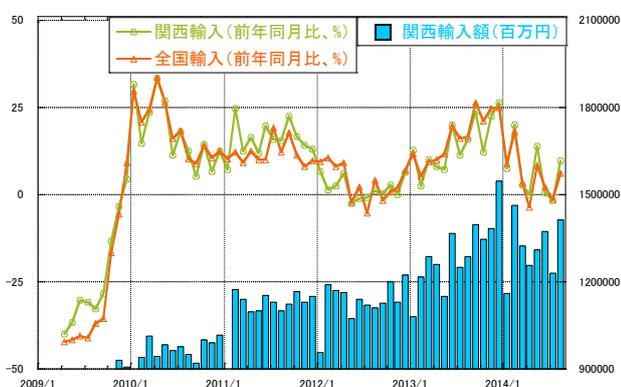
(出所) 「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」、大阪税関調査統計課

### (3) 輸入

関西9月の輸入額(速報値)は1兆4,139億円。前年同月比+9.7%と2カ月ぶりのプラス。財別に見れば、原油及び粗油(単月過去最高額)、天然ガス及び製造ガス(単月過去最高額)等が増加した。

全国9月の輸入額(速報値)は7兆3,415億円、前年同月比+6.2%と2カ月ぶりのプラス。財別に見れば、液化天然ガス、通信機、肉類等の輸入が増加した。

輸入(右、100万円)・前年同月比(左、%)推移(2014年9月まで)



(出所) 「財務省貿易統計」、財務省

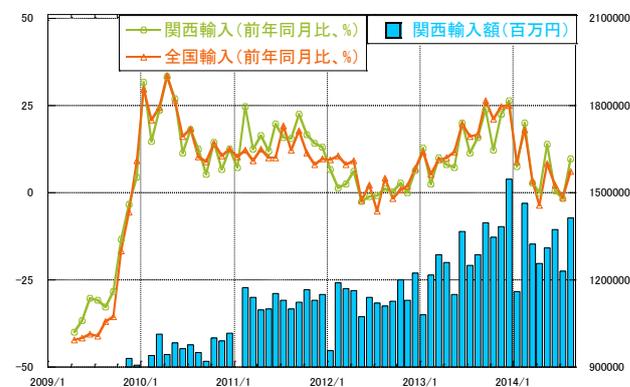
### (4) 関西の地域別貿易

9月関西の貿易収支を地域別に見ると、対アジア貿易収支は前年比+868億円と8カ月連続の黒字であり、黒字幅は同+9.3%拡大した。うち、輸出は2カ月ぶりのプラス(同+7.6%)。財別に見れば、輸出は半導体等電子部品(同+16.5%)、科学光学機器(同+19.0%)等が増加した。輸入は3カ月ぶりのプラス(同+7.4%)。財別に見ると、がん具及び遊戯用具(同+110.0%)、鉄鋼(同+41.4%)等が増加した。輸出入ともに増加となったが貿易収支は黒字となった。

うち、対中貿易収支は-1,626億円と31カ月連続の赤字だが赤字幅は3カ月連続で縮小(同-3.7%)。うち、輸出は6カ月連続のプラス(同+11.9%)となった。半導体等電子部品(同+23.5%)、科学光学機器(同+18.7%)が増加した。一方、輸入は3カ月ぶりのプラス(同+6.1%)。がん具及び遊戯用具(同+113.8%)、無機化合物(同+61.7%)が増加した。

対米貿易収支は+732億円と黒字基調が続いているが、黒字幅は2カ月ぶりに増加した(同+10.0%)。うち、輸出は4カ月連続の増加(同+13.1%)。建設用・鉱山用機械(同+49.5%)、半導体等製造装置(同+204.6%)等が増加した。輸入は5カ月連続の増加(同+15.6%)。天然ガス及び製造ガス(同+411.3%)、無機化合物(同+98.7%)等が増加した。

対EU貿易収支は-198億円と2カ月ぶりの赤字となり、赤字幅は増加した(前年比+336.1%)。うち、輸出は16カ月ぶりのマイナス(同-5.6%)であった。遊戯用具(同-48.4%)、鉱物性燃料(同-98.1%)等が減少した。輸入は2カ月ぶりの増加(同+5.5%)。半導体等製造装置(同+10461.9%)、医薬品(同+5.7%)等が増加した。

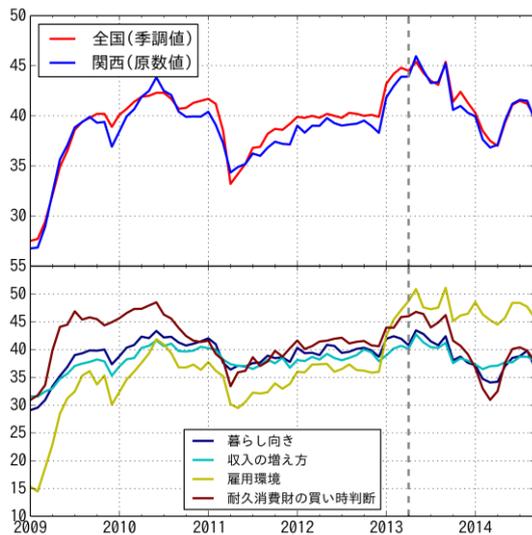


## 【消費者センチメント】

### (1) 消費者態度指数の動向

関西の9月の消費者態度指数(原数値)は前月比-1.9ポイントの39.6と、2カ月連続の悪化。消費者心理の停滞感が増してきた。

消費者態度指数(2014年9月まで)



(出所) 内閣府「消費動向調査」(平成26年10月10日公表)

同指数の構成項目をみると、4つの指標全てが前月からマイナス。「暮らし向き」の落ち込みが最も大きく、同-2.9ポイントと6カ月ぶりのマイナス。「雇用環境」は同-2.0ポイント、「耐久消費財の買い時判断」は同-1.9ポイントといずれも2カ月連続のマイナスで、悪化幅も拡大している。「収入の増え方」も同-0.7ポイントと7カ月ぶりにマイナスに転じた。

なお全国の9月の消費者態度指数(季節調整値)は39.9となり、同-1.3ポイントと2カ月連続の悪化。

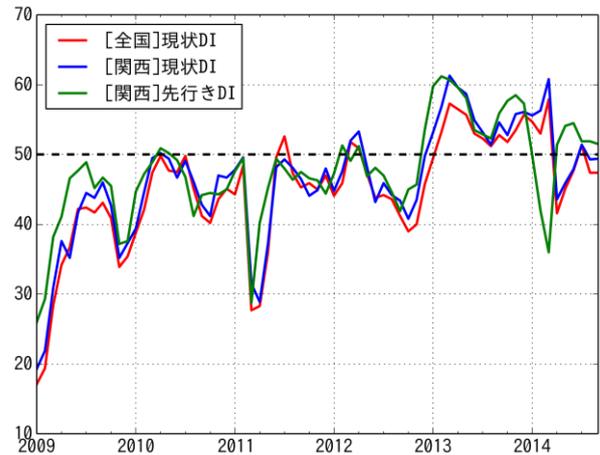
### (2) 景気ウォッチャー指数の動向

関西の9月の現状判断DIは前月比+0.1ポイント小幅上昇し49.4となった。2カ月ぶりのプラス。消費増税の影響が見られるものの、外国人観光客の増加が上昇に寄与したようである。全国は同横ばいの47.4となった。

先行き判断DIは、関西では同-0.4ポイント低下し、51.5となった。2カ月ぶりの悪化。全国では48.7となり、同-1.7ポイント低下した。4カ月連続の悪化。円安に伴う輸入物価

の上昇や、賃金の増加が緩やかであるため、節約志向が今後高まる可能性がある。センチメントの改善は見込みづらい。

景気ウォッチャー調査(2014年8月まで)



(出所) 内閣府(平成26年10月7日公表)

## 【所得・個人消費・住宅】

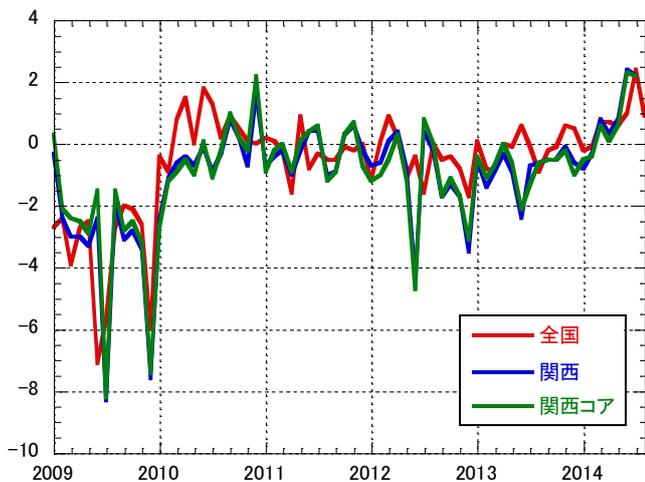
### (1) 現金給与総額

7月の関西2府4県の現金給与総額(APIR推計)は37万399円で前年比+2.2%と5カ月連続のプラスとなり、前月(同+2.4%)と同程度の高い伸びとなった。府県別では、奈良県が+5.1%、大阪府が+3.6%と大きく伸びたものの、京都府で+1.0%、滋賀県で+0.9%、和歌山県で+0.4%と小幅な伸びに止まった。兵庫県では-0.2%と3カ月ぶりのマイナスに転じた。

また、京都・大阪・兵庫の加重平均をとった「関西コア」賃金指数(APIR推計)は7月が同+2.2%とこちらも5カ月連続のプラスで、前月(同+2.3%)と同程度の伸びとなった。産業別では、生活関連サービス等で大幅に上昇したことが全体を押し上げた。

全国(確報値)では、8月は同+0.9%(速報値: +1.4%)と6カ月連続のプラスとなったものの、伸びは減速している。内訳をみると、所定内給与は前年比で+0.2%と3カ月連続の上昇、残業代などの所定外給与が同+1.2%の上昇、特別給与が同+13.4%の上昇となった。

現金給与総額(前年同月比：%、2014年8月まで)

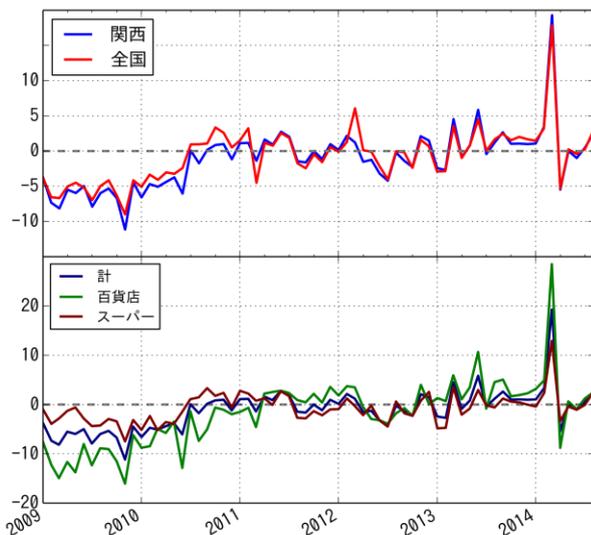


(注) 関西・関西コア(京都、大阪、兵庫)はAPIR推計値。現金給与総額を当該常用労働者数(平成23年平均)で加重平均。  
(出所) 厚生労働省「毎月勤労統計調査」(10月17日公表)

## (2) 大型小売店販売額

関西の8月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(全店ベース)は、前年同月比+2.4%と2カ月連続のプラス。百貨店も同+2.4%と2カ月連続のプラス。スーパーも同+2.4%と5カ月ぶりにプラスに転じた。消費増税から5カ月が経過し、駆け込み需要の反動減の影響は和らぎつつある。

大型小売店販売額 (前年同月比：%、2014年8月まで)



(注) 福井県を含む。

(出所) 経済産業省「商業動態統計」(平成26年9月30日公表)

全国でも、8月の大型小売店販売額(全店ベース)は同+2.8%と2カ月連続のプラスとなっている。

## (3) 新設住宅着工の動向

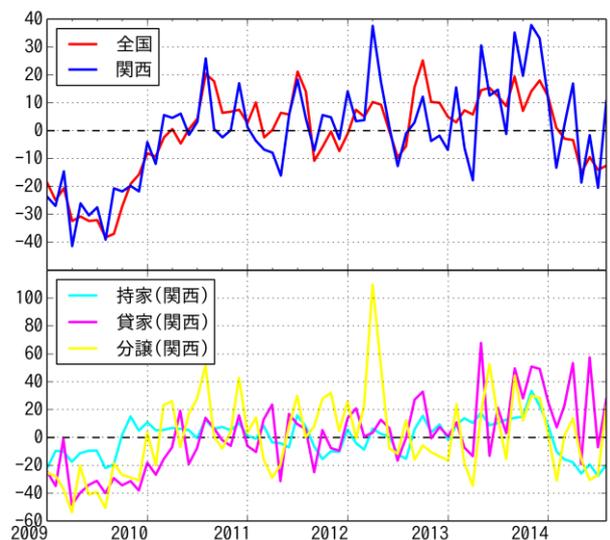
関西の8月の新設住宅着工戸数は12,764戸。前年同月比+10.6%と4カ月ぶりのプラス。

一方、全国では同-12.5%と6カ月連続で下落している。

関西の住宅着工を利用関係別にみると、持家は同-19.5%と7カ月連続の2桁減となった一方で、貸家が同+27.7%と2カ月ぶりの大幅増、分譲も同+22.8%と4カ月ぶりの大幅増(うちマンション:同+81.4%、一戸建:同-18.6%)となった

なお9月の関西マンション契約率は79.4%(季節調整値、APIR推計)となった。好不調の目安となる70%を36カ月連続(原数値は8カ月連続)で上回り、販売は好調を維持。

新設住宅着工(前年同月比：%、2014年8月まで)



(出所) : 国土交通省「住宅着工統計」(平成26年9月30日公表)

## 【雇用動向】

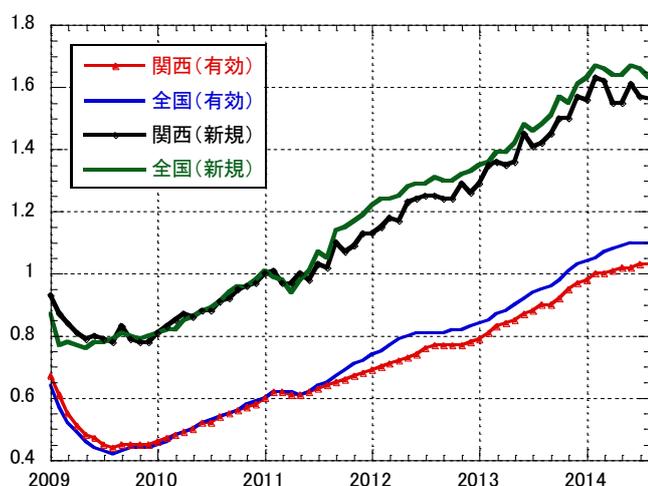
### (1) 求人倍率の動向

8月の関西の有効求人倍率は、1.03倍と前月比横ばいとなった。7カ月連続で1倍台を上回ったものの、横ばい傾向が続いている。全国は1.10倍で2カ月連続の前月比横ばいとなり、改善に一服感があるものの、1992年6月(1.10倍)に並ぶ高水準を維持。

8月の関西の新規求人倍率は、1.56倍と前月比-0.01ポイント下落し、2カ月連続の下落。全国は1.62倍と同-0.04ポイントと2カ月連続で下落しており、共に新規求人意欲が弱まっている。

関西の有効求人倍率を府県別にみると、受理地別では大阪府と和歌山県が小幅上昇。就業地別では、兵庫県を除く府県では1倍台を回復したものの、滋賀県では0.03ポイント下落した。

有効求人倍率の推移 (季節調整値、2014年8月まで)



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況 (平成26年9月30日発表)

関西2府4県有効求人倍率(2014年8月)

8月	全国	関西	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
受理地別	1.10	1.03	0.97	1.05	1.14	0.89	0.89	1.05
就業地別	1.10	1.02	1.14	1.08	1.00	0.97	1.01	1.12

## (2) 完全失業率の推移

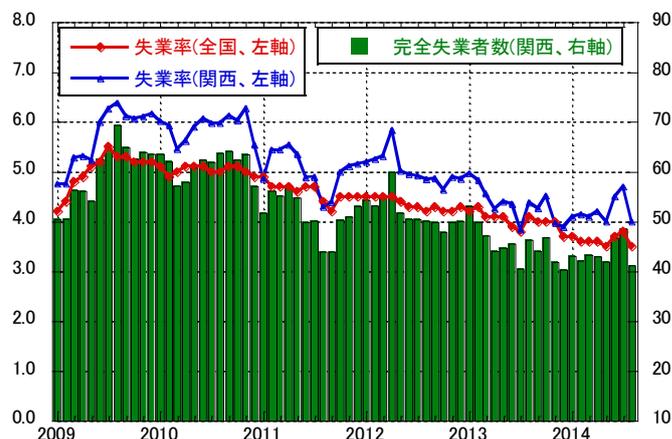
8月の関西の完全失業率(季節調整値:APIR推計)は4.0%となり、前月(4.7%)から-0.7ポイント下落し、3カ月ぶりの改善となった。非労働力人口の増加が失業率低下の要因とみられる。

関西の完全失業者数(季節調整値:APIR推計)は41.3万人。前月(48.6万人)から7.4万人減少した。

全国の完全失業率(季節調整値)は3.5%となり、前月(3.8%)から-0.3ポイント下落。こちらも3カ月ぶりの下落となっており、女性の非労働力人口が大幅に増加したことが失業率を押し下げた。

全国の就業率(原数値ベース)をみると、72.8%と前月(72.6%)と比べて上昇しており、引き続き好調を維持している。

完全失業率の推移 (季節調整値:%,万人、2014年8月まで)



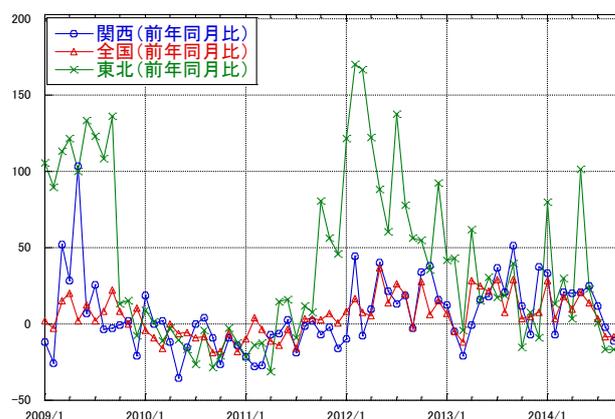
(出所) 総務省「労働力調査」(平成26年9月30日発表)

## 【公共投資】

### (1) 公共工事請負金額

9月関西の公共工事請負金額は1,485億円と前年同月比-11.3%、全国は1兆3,984億円と同-8.2%、東北は2,314億円と同-16.5%、いずれも2カ月連続のマイナスとなった。全国的に、公共工事受注の伸びは減速が続いている。

公共工事請負金額(前年同月比:%,2014年9月まで)



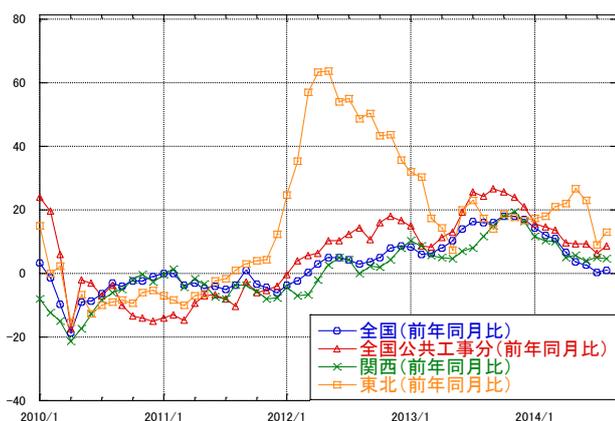
(出所) 「公共工事前払金保証統計」、東日本建設業保証株式会社

季節調整値(APIR 推計)で見ると、関西、全国共に4カ月前月の前月比プラスとなった(関西：同+27.2%、全国：同+24.0%)。結果、関西の7-9月期は前期比-4.1%と2期ぶりのマイナス。全国は同-14.2%と3期ぶりのマイナスとなっており、今後の受注動向には注意が必要である。

## (2) 建設工事

関西8月の建設工事は5,061億円。前年同月比+4.8%と28カ月連続のプラスも、伸びは5カ月連続で1桁となった。東北は5,170億円、同+13.0%と37カ月連続のプラス。全国は4兆309億円となり同+1.2%と30カ月連続のプラス、全国の公共工事は1兆7,037億円で同+8.7%と31カ月連続のプラス。いずれも5カ月連続で1桁の伸びにとどまった。全国的に建設工事の伸びは停滞している。

建設工事(前年同月比：%、2014年8月まで)



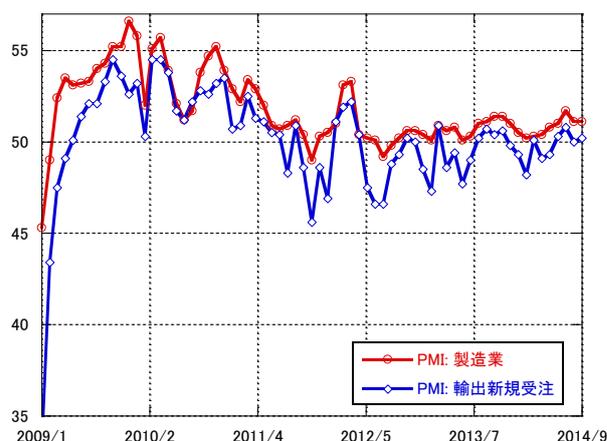
(出所) 国土交通省「建設総合統計」

## 【中国景気モニター】

### (1) センチメント

9月の製造業購買担当者景況指数(PMI)は、前月比横ばいの51.1となった。うち、生産指数は53.6と同+0.4ポイント上昇した。2カ月ぶりのプラス。新規受注指数は52.2となり、同-0.3ポイント低下し、2カ月連続の悪化。輸出新規受注は同+0.2ポイント小幅上昇し、50.2となった。4カ月連続で50を上回っている。一方、雇用指数は48.2となり前月比同横ばい。2012年6月以来、27カ月連続で50を下回っている。

中国製造業購買担当者景況指数(2014年9月まで：%)



出所：中国国家统计局; CEIC データベース

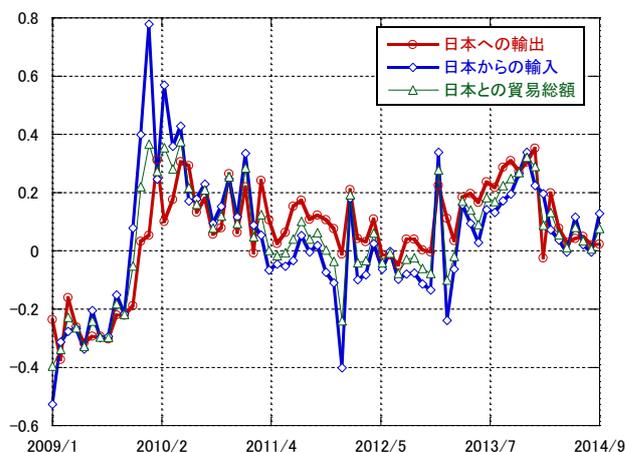
### (2) 貿易動向

9月の中国の輸出額(速報値、ドル・ベース)は前年同月比+15.1%増加し、6カ月連続のプラス。伸びは前月(同+9.4%)から再び加速した。輸入額は同+7.2%(速報値)となり、3カ月ぶりのプラス。

うち日本への輸出額は同-5.3%となり、2カ月連続のマイナス。日本からの輸入額は同+4.5%となり、前月(-5.3%)からプラスに転じた。

円ベースに換算すると、日本への輸出額は同+2.2%となり、7カ月連続のプラス。日本からの輸入額は同+12.8%となり、前月(-0.4%)からプラスとなった。

日本との貿易 (前年同月比; 円ベース) (2014年9月まで：%)



出所：中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

Contact：岡野光洋・林万平・木下祐輔

Tel. 06-6485-7695,

E-mail. contact@apir.or.jp

【主要月次統計】

月次統計	13/09M	13/10M	13/11M	13/12M	14/01M	14/02M	14/03M	14/04M	14/05M	14/06M	14/07M	14/08M	14/09M
景況													
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	54.6	52.8	55.8	56.1	55.6	56.3	60.8	43.6	45.9	47.9	51.4	49.3	49.4
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	53.0	50.4	54.6	54.1	53.7	53.4	60.1	40.4	43.1	46.8	50.3	49.9	50.2
[関西]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	55.9	57.7	58.5	57.3	49.9	42.0	36.0	51.4	54.1	54.5	51.9	51.9	51.5
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	52.8	51.8	53.5	55.7	54.7	53.0	57.9	41.6	45.1	47.7	51.3	47.4	47.4
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	50.6	49.2	51.3	53.1	52.2	50.2	57.0	37.2	42.1	45.1	49.4	45.8	46.7
[全国]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	54.2	54.5	54.8	54.7	49.0	40.0	34.7	50.3	53.8	53.3	51.5	50.4	48.7
消費者心理・小売り													
[関西]消費者態度指数(原数値)	45.2	40.6	41.0	40.3	39.9	37.6	36.8	37.1	39.5	41.2	41.6	41.5	39.6
[関西]「暮らし向き」(原数値)	42.4	38.1	38.7	37.6	37.2	34.7	34.1	34.2	37.0	38.5	38.8	39.8	36.9
[関西]「収入の増え方」(原数値)	41.2	37.6	38.4	38.0	37.3	36.5	37.0	37.1	37.7	37.7	38.7	38.7	38.0
[関西]「雇用環境」(原数値)	51.1	45.1	46.1	46.5	48.6	48.3	45.3	44.5	45.7	48.4	48.4	47.7	45.7
[関西]「耐久消費財の買い時判断」(原数値)	46.2	41.6	40.7	39.2	36.7	33.0	31.0	32.5	37.6	40.1	40.4	39.8	37.9
[全国]消費者態度指数(季節調整値)	45.4	41.4	42.4	41.3	40.3	38.5	37.5	37.0	39.3	41.1	41.5	41.2	39.9
[関西]乗用車新規登録届出数(前年同月比%)	14.0	17.9	16.2	24.6	28.2	20.8	20.4	-8.9	-2.5	-1.8	-1.4	-9.2	UN
[関西]家電販売額(前年同月比%)	-5.1	3.3	6.1	-1.2	11.0	34.4	68.6	-18.4	-13.2	-12.3	-3.3	-10.7	UN
[関西]大型小売店販売額(10億円)	289.4	305.2	329.6	415.9	333.0	286.6	377.8	281.1	304.0	314.1	335.0	311.0	UN
[関西]大型小売店販売額(前年同月比%、全店)	2.6	1.0	1.1	1.0	1.0	3.4	19.3	-5.5	0.1	-1.0	0.5	2.4	UN
[全国]大型小売店販売額(10億円)	1505.9	1591.1	1696.3	2139.9	1711.7	1469.0	1956.2	1467.7	1592.9	1631.7	1717.2	1626.5	UN
[全国]大型小売店販売額(前年同月比%、全店)	1.7	0.8	1.2	0.9	0.7	2.4	17.0	-6.1	-0.5	-1.2	0.3	2.8	UN
住宅・建設													
[関西]新設住宅着工(戸数)	13606.0	14873.0	13938.0	14737.0	11299.0	9592.0	11170.0	12424.0	10095.0	12018.0	10038.0	12764.0	UN
[関西]新設住宅着工(前年同月比%)	35.2	19.7	37.9	33.1	11.7	-13.3	2.5	16.9	-18.6	-1.6	-20.5	10.6	UN
[全国]新設住宅着工(戸数)	88539.0	90226.0	91475.0	89578.0	77843.0	69689.0	69411.0	75286.0	67791.0	75757.0	72880.0	73771.0	UN
[全国]新設住宅着工(前年同月比%)	19.4	7.1	14.1	18.0	12.3	1.0	-2.9	-3.3	-15.0	-9.5	-14.1	-12.5	UN
[関西]マンション契約率(季節調整値)	83.1	78.3	79.2	71.7	72.1	80.6	75.9	73.0	81.3	72.7	73.8	70.3	79.4
[関西]マンション契約率(原数値)	80.5	79.6	76.0	69.9	65.2	77.4	77.8	74.3	85.3	76.4	77.1	71.7	76.9
[全国]マンション契約率(季節調整値)	83.5	82.4	79.4	75.0	84.2	81.8	75.4	72.4	78.1	73.4	84.0	72.3	71.6
[全国]マンション契約率(原数値)	83.5	79.6	79.6	76.1	78.6	80.6	79.8	74.7	78.9	76.6	83.7	69.6	71.6
[関西]公共工事前払保証額(10億円)	167.5	135.7	111.2	112.6	94.3	78.9	132.2	187.0	173.7	188.3	164.5	116.7	148.5
[関西]公共工事前払保証額(前年同月比%)	51.4	12.2	-7.0	37.8	33.2	-6.8	20.8	20.3	21.1	25.0	12.2	-2.0	-11.3
[全国]公共工事前払保証額(10億円)	1523.5	1420.5	941.6	886.0	777.6	695.9	1456.8	1758.3	1312.6	1585.5	1627.3	1127.6	1398.4
[全国]公共工事前払保証額(前年同月比%)	29.4	3.5	4.9	7.5	28.8	3.7	18.1	10.0	21.1	14.3	3.5	-8.1	-8.2
[関西]建設工事(総合、10億円)	521.8	540.2	569.5	595.0	592.7	585.3	567.9	442.4	450.5	462.1	475.6	506.1	UN
[関西]建設工事(総合、前年同月比%)	15.0	18.1	19.3	16.4	11.6	10.5	10.1	4.9	5.7	4.2	4.9	4.8	UN
[全国]建設工事(総合、10億円)	4319.8	4549.6	4779.7	4920.2	4672.1	4607.0	4551.9	3512.0	3435.2	3634.4	3738.2	4030.9	UN
[全国]建設工事(総合、前年同月比%)	16.2	18.1	17.9	16.9	14.3	12.1	10.9	6.6	3.7	2.8	0.5	1.2	UN
[関西]建設工事(公共工事、10億円)	1811.8	1997.6	2171.5	2259.8	2111.5	2123.8	2124.6	1378.3	1301.1	1410.8	1485.5	1703.7	UN
[全国]建設工事(公共工事、前年同月比%)	26.7	25.6	24.2	20.9	15.7	14.7	13.8	9.7	9.4	9.4	6.3	8.7	UN
生産													
[関西]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	102.9	104.1	102.7	103.9	105.9	105.3	105.9	106.5	109.2	106.7	107.6	103.4	UN
[関西]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	0.2	1.2	-1.3	1.2	1.9	-0.6	0.6	0.6	2.5	-2.3	0.8	-3.9	UN
[関西]「出荷指数」(原数値、前年同月比%)	-0.2	0.5	1.0	3.6	8.5	6.3	6.7	3.0	1.5	5.5	1.3	-1.5	UN
[関西]「在庫指数」(原数値、前年同月比%)	0.5	1.5	0.7	3.1	3.1	3.0	2.4	3.7	6.4	6.4	6.7	7.4	UN
[関西]「出荷指数」(季節調整値、10年=100)	100.6	101.8	102.8	103.1	107.5	106.3	106.7	102.4	102.8	102.9	101.6	99.4	UN
[関西]「出荷指数」(季節調整値、前月比)	-0.5	1.2	1.0	0.3	4.3	-1.1	0.4	-4.0	0.4	0.1	-1.3	-2.2	UN
[関西]「在庫指数」(季節調整値、10年=100)	112.6	114.1	112.7	115.5	114.9	114.5	112.8	114.9	117.5	117.6	120.4	119.5	UN
[関西]「在庫指数」(季節調整値、前月比)	0.8	1.3	-1.2	2.5	-0.5	-0.3	-1.5	1.9	2.3	0.1	2.4	-0.7	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	98.6	99.2	99.5	100.0	103.9	101.5	102.2	99.3	100.0	96.6	97.0	95.2	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	1.5	0.6	0.3	0.5	3.9	-2.3	0.7	-2.8	0.7	-3.4	0.4	-1.9	UN
[全国]「出荷指数」(原数値、前年同月比%)	4.6	6.3	6.6	6.4	9.3	6.5	6.5	2.4	-0.8	2.2	-0.1	-3.7	UN
[全国]「在庫指数」(原数値、前年同月比%)	-3.5	-3.6	-5.1	-4.3	-3.9	-3.4	-1.4	-1.9	0.8	2.8	2.9	4.6	UN
[全国]「出荷指数」(季節調整値、10年=100)	97.7	99.0	99.1	99.3	104.4	103.4	103.2	98.0	97.0	95.2	95.9	93.9	UN
[全国]「在庫指数」(季節調整値、前月比)	1.7	1.3	0.1	0.2	5.1	-1.0	-0.2	-5.0	-1.0	-1.9	0.7	-2.1	UN
[全国]「在庫指数」(季節調整値、10年=100)	107.5	107.2	105.7	105.5	105.1	104.2	105.7	105.2	108.4	110.6	111.6	112.6	UN
[全国]「在庫指数」(季節調整値、前月比)	-0.1	-0.3	-1.4	-0.2	-0.4	-0.9	1.4	-0.5	3.0	2.0	0.9	0.9	UN
労働													
[関西]現金給与総額(2府4県、前年同月比%)	-0.5	-0.5	-0.1	-0.6	-0.8	-0.3	0.8	0.3	0.8	2.4	2.2	UN	UN
[関西]現金給与総額(2府1県、前年同月比%)	-0.5	-0.5	-0.2	-1.0	-0.5	-0.4	0.6	0.1	0.6	2.3	2.2	UN	UN
[全国]現金給与総額(前年同月比%)	-0.2	-0.1	0.6	0.5	-0.2	-0.1	0.7	0.7	0.6	1.0	2.4	0.9	UN
[関西]完全失業率(季節調整値)	4.1	4.6	3.9	3.9	4.1	4.1	4.1	4.2	4.0	4.5	4.7	4.0	UN
[関西]完全失業率(原数値)	4.1	4.7	3.9	3.6	4.2	4.3	4.4	4.3	4.0	4.2	4.7	4.0	UN
[全国]完全失業率(季節調整値)	4.0	4.0	4.0	3.7	3.7	3.6	3.6	3.6	3.5	3.7	3.8	3.5	UN
[関西]新規求人倍率(季節調整値)	1.42	1.51	1.48	1.58	1.56	1.63	1.62	1.55	1.55	1.61	1.57	1.56	UN
[全国]新規求人倍率(季節調整値)	1.50	1.59	1.56	1.64	1.63	1.67	1.66	1.64	1.64	1.67	1.66	1.62	UN
[関西]有効求人倍率(季節調整値)	0.89	0.91	0.94	0.96	0.98	1.00	1.00	1.01	1.02	1.02	1.03	1.03	UN
[全国]有効求人倍率(季節調整値)	0.95	0.98	1.00	1.03	1.04	1.05	1.07	1.08	1.09	1.10	1.10	1.10	UN
国際貿易													
[関西]純輸出(10億円)	-34.3	-112.4	-106.0	-77.0	-461.8	51.8	-110.9	-10.7	-27.7	-22.5	-61.9	44.6	-64.8
[関西]輸出(10億円)	1254.4	1284.7	1242.3	1308.4	1087.7	1212.5	1351.7	1312.7	1231.2	1288.9	1310.8	1273.5	1349.1
[関西]輸出(前年同月比%)	5.3	14.3	15.6	10.6	10.3	15.0	3.1	8.6	1.2	1.5	5.5	1.3	7.5
[関西]輸入(10億円)	1288.7	1397.0	1348.3	1385.4	1548.3	1160.7	1462.6	1323.4	1258.8	1311.4	1373.9	1228.8	1413.9
[関西]輸入(前年同月比%)	15.9	23.9	12.2	22.6	26.6	7.6	20.0	2.8	0.0	13.9	0.6	-1.7	9.7

注1: 鉱工業生産 輸送機械工業は銅船・鉄道車両除く

## Release Calendar for APIR Monthly

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
29-Sep	30-Sep	1-Oct 中国製造業 PMI (9月)	2-Oct	3-Oct
6-Oct	7-Oct	8-Oct 景気ウォッチャー調査 (9月) 中国輸出入 (9月:速報値)	9-Oct	10-Oct 消費動向調査(9月) 近畿鉱工業生産指数 (8月速報)
13-Oct	14-Oct 商業動態調査 (8月:確報値)	15-Oct 全国鉱工業生産指数 (8月:確報値) マンション契約率 (9月) 公共工事前払保証額 統計(9月) 中国工業生産(9月) 中国消費小売総額 (9月)	16-Oct 7-9月期中国 GDP	17-Oct 建設総合統計(8月) 毎月勤労統計 (8月:確報値)
20-Oct	21-Oct 中国固定資産投資 (9月)	22-Oct 全国貿易統計 (9月:速報) 近畿貿易統計 (9月速報)	23-Oct	24-Oct 近畿鉱工業生産指数 (8月確報)
27-Oct 近畿貿易統計 (9月速速)	28-Oct 商業動態調査 (9月:速報値) 新設住宅着工(9月) 求人倍率(9月) 完全失業率(9月)	29-Oct 全国鉱工業生産指数 (9月:速報値)	30-Oct 全国貿易統計 (9月:確速)	31-Oct